

長期漁海況予報（令和8年1月～6月の予測）について

令和7年12月23日～24日に令和7年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催されました。予報対象海域に関係する水産関係試験研究機関が参加・検討を行い、国立研究開発法人水産研究・教育機構が予報文をとりまとめ、12月26日に公表されましたのでお知らせします。予報内容の詳細については本文を参照ください。（予報本文 URL：https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2025/fri_20251226_ukiuo-pac-2nd.html）

1. 海況

(1) 黒潮（潮岬以東）

- ・3月までC型で推移し、その後はN型基調となる。
- ・遠州灘では、3月までは離岸傾向で推移し、その後は接岸傾向となる。
- ・房総沖では、接岸傾向で推移するものの、野島埼沖では離岸することがある。

(2) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・断続的に黒潮系暖水の影響がみられる。

(3) 沿岸水温

- ・房総海域～常磐南部海域は、「平年並」～「高め」で推移する。

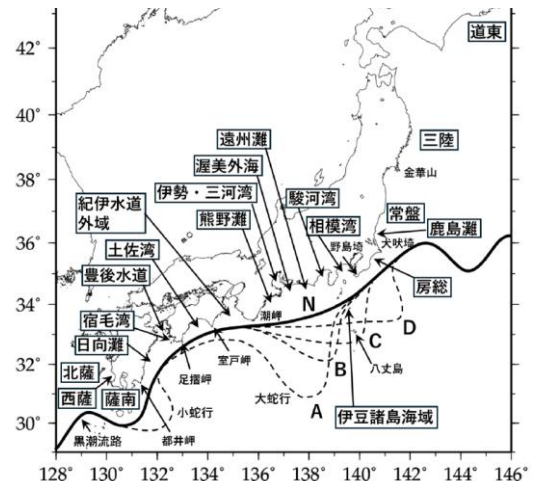


図. 予報対象海域および黒潮の流型

2. 漁況

(1) マサバ・ゴマサバ（犬吠埼沖～三陸海域：まき網、定置網、底曳網）

- ①来遊量：マサバはまき網では極めて低調であった前年並、定置網、底曳網では前年を下回る。ゴマサバは混獲される程度で低水準。サバ類全体としては低調であった前年並。
- ②漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠埼沖～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網、底曳網ではマサバは1月、2月および4月以降に漁獲され、ゴマサバは5月以降に漁獲される。
- ③魚体〔尾叉長〕：マサバは期を通じて25cm～38cm（3歳魚、4歳魚、体重150g～620g）主体に、18cm～30cm（1歳魚、2歳魚、50g～280g）、28cm以上（5歳以上、220g以上）も漁獲される。

(2) マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：前年を下回る。
- ②漁期・漁場：1そうまきの漁場は、1月～5月は犬吠埼沖～三陸南部海域で形成され、6月以降は犬吠埼沖～三陸北部海域、6月下旬には道東海域でも形成される。2そうまきの漁場は、期を通じて房総海域～鹿島灘に形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。
- ③魚体〔被鱗体長〕：10cm～15cm前後（1歳魚、体重10g～40g）、14cm～18cm前後（2歳魚、30g～65g）、15cm～19cm前後（3歳魚、40g～80g）、17cm～21cm前後（4歳魚、55g～100g）、19cm以上（5歳以上、75g以上）。まき網では2歳魚～4歳魚主体。

(3) カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：房総海域では低調であった前年並。三陸南部海域～仙台湾では前年並～上回る。常磐海域、三陸北部海域および道東海域では主たる漁獲対象とならない。
- ②漁期・漁場：房総海域の2そうまきでは期を通じて漁獲される。三陸南部海域～仙台湾の定置網では1月に終漁し、4月に初漁となる。1そうまきの主な漁獲対象にはならない。
- ③魚体〔被鱗体長〕：9cm～12cmの1歳魚（7g～17g）を主体に、10cm～13cmの2歳魚（10g～22g）が漁獲される。

（回遊性資源部）

【次回予告】R8. 2. 6 発行の「水産の窓」は、「冬季底魚資源調査結果」を予定しています。